

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	整形外科学特論	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)が正常に機能を果たす上で、どのような解剖学的構造の基で、情報が伝達され、連関されているかについて、組織レベルから細胞・分子レベルまで理解を深める。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	整形外科専門医養成講座	運動器の障害に関する最新の研究成果を正確に理解し、臨床に還元する方法を修得する。また、整形外科の臨床現場における問題点から仮説を立て、実証するための研究計画を立案し、研究を遂行し、論文として発表することができる能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	整形外科学特論	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)が正常に機能を果たす上で、どのような解剖学的構造の基で、情報が伝達され、連関されているかについて、組織レベルから細胞・分子レベルまで理解を深める。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	整形外科学演習	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなプロセスで回復に向かうのかについて、組織レベルから細胞・分子レベルまで、骨形態計測学、免疫組織化学、細胞培養、flow cytometry、RT-PCRなどの手法を用いた演習を通じて理解する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	整形外科学実習	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなアプローチで回復に向かわせることができるかについて、実験動物を用いて学び、さらにその意義と問題点を理解し、その手法を実習を通して取得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	整形外科専門医養成講座	運動器の障害に関する最新の研究成果を正確に理解し、臨床に還元する方法を修得する。また、整形外科の臨床現場における問題点から仮説を立て、実証するための研究計画を立案し、研究を遂行し、論文として発表することができる能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム

## 3年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	整形外科学演習	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなプロセスで回復に向かうのかについて、組織レベルから細胞・分子レベルまで、骨形態計測学、免疫組織化学、細胞培養、flow cytometry、RT-PCRなどの手法を用いた演習を通じて理解する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	整形外科学実習	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなアプローチで回復に向かわせることができるかについて、実験動物を用いて学び、さらにその意義と問題点を理解し、その手法を実習を通して取得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	整形外科学論文指導	種々の実験的手法を用いて得られた結果を論文としてまとめて、運動器の発生、分化、機能およびそれらの障害とその治療法について総合的に理解し、論文を作成する能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	整形外科専門医養成講座	運動器の障害に関する最新の研究成果を正確に理解し、臨床に還元する方法を修得する。また、整形外科の臨床現場における問題点から仮説を立て、実証するための研究計画を立案し、研究を遂行し、論文として発表することができる能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム

## 4年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	整形外科学実習	整形外科が対象とする運動器(骨、軟骨、筋、腱、靭帯、神経)の機能が障害された場合に、どのようなアプローチで回復に向かわせることができるかについて、実験動物を用いて学び、さらにその意義と問題点を理解し、その手法を実習を通して取得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	整形外科学論文指導	種々の実験的手法を用いて得られた結果を論文としてまとめて、運動器の発生、分化、機能およびそれらの障害とその治療法について総合的に理解し、論文を作成する能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月	第3	金曜	4限	整形外科専門医養成講座	運動器の障害に関する最新の研究成果を正確に理解し、臨床に還元する方法を修得する。また、整形外科の臨床現場における問題点から仮説を立て、実証するための研究計画を立案し、研究を遂行し、論文として発表することができる能力を修得する。	酒井 鈴木	カンファレンス ルーム